



北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.37

令和7年度第3回北区認知症フレンドリーアイデアミーティング × 認知症サポーターステップアップ講座

「今考える認知症のこと、まちのこと。」を開催しました！

2月15日（日）に認知症サポーターステップ講座にも位置付けた、認知症フレンドリーアイデアミーティング③を開催しました。過去5年間の北区での取組みを踏まえ、新たに作成した「認知症フレンドリーコミュニティガイド【実践編】」のお披露目に始まり、「認知症フレンドリーコミュニティ」の実現のために今、自分にできることは何かを考えるきっかけとなるような講演会となりました。

第1部 認知症フレンドリーコミュニティを考える



第1部では、北区が「認知症フレンドリーコミュニティ」の実現に向けて行ってきた様々な取組みを通じて得たヒントや気づきをまとめた「認知症フレンドリーコミュニティガイド【実践編】」のお披露目を行いました。

北区は名古屋市内でひとり暮らしの高齢者が1番多い区です。ひとり暮らしの人が認知症になっても、住み慣れた自宅で暮らし続けられる地域となるため、北区がどのようなことに取り組んできたのか、参加者の皆さんへ共有しました。



第2部 基調講演&ピアノコンサート



第2部では、医師・ピアニストの二刀流でご活躍されている浅野涼先生による、ピアノの生演奏を交えた講演を行っていただきました。

通院が難しい患者さんの自宅で医療を提供する「訪問診療」の実際を紹介し、患者さんの生活に寄り添う医療の大切さを語っていただきました。また、音楽の力…患者さんの心を動かし、前向きな時間を生み出した複数の体験談も紹介されました。

講演中、先生のピアノ演奏に合わせ、「川の流れるように」を参加者全員で歌う場面もあり、アンコール演奏では「ラ・カンパネラ」を披露していただきました。



浅野 涼 氏
(医師・ピアニスト)

○参加者からのコメント

- ・ 訪問医に対するイメージが変わりました。
- ・ とても心が落ち着き、和ませていただきました。
- ・ 人との繋がりが難しい時代、先生の音楽を取り入れた活動はとても素晴らしいと思います。自分の今後の活動に取り組んでみようと思いました。
- ・ 先生の演奏、とても素晴らしかったです。認知症のいい勉強になりました。参加して良かったです。

裏面に続く ▶▶



第3部では、医療法人としわ会の生活相談員であり北区チームオレンジのメンバーでもある服部誠氏にご登壇いただきました。

最初に、東日本大震災の被災者支援や防災啓発のボランティア活動で得た経験や知識をお話いただきました。

その後、災害弱者である認知症のある方が、万が一のときの備えとして日常の中でできることを、浅野涼先生とともにそれぞれの専門分野の視点から語っていただきました。



服部 誠氏
(医療法人としわ会)

当日のグラフィックレコーディング



中嶋 伸恵氏
(おでかけカンパニー)

グラフィックレコーディングとは、話し合いの内容をその場で絵や図を使ってわかりやすくまとめる方法のことで

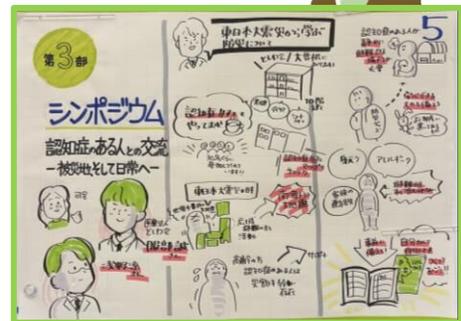
北区では、「認知症本人のつどい」など、地域包括ケアの事業やイベントなどでこの手法を活用した記録を積極的に行っています。



参加者のコメント

こんな方法があるなんて初めて知りました。素晴らしいですね。

あとで見返したときに『ああ、こんな話だったな』とすぐに思い出せていいですね。



バックナンバーはこちらをご覧ください！▶



今後の活動予定

- ・2月26日 本人のつどい @スターバックス名城公園店
- ・2月27日 本人のつどい